 <b>誠心ファミリー</b>	<b>第 25 号</b>	発行日 令和元年5月22日(水)
		発行者 誠心会副会長 宍戸雅裕
		呉市本通6-2-23 ☎/FAX 0823-25-0460
		谷本誠一 E-mail:sss2001@nifty.com
		谷本誠一HP <a href="http://www.sss2001.net/">http://www.sss2001.net/</a>

# 食育をテーマに6期目の当選！ 歴史的「令和維新」に向け始動！



▲呉駅前で選挙戦街頭演説をする谷本候補

谷本誠一候補は、4月21日の呉市議選投票日に2,012票を得て、6期目の当選を果たしました。選挙戦でのテーマは「食育」です。

近年何故癌の発症が増えたのか。それはWHOが発癌性を認めた除草剤「ラウンドアップ」に象徴されるように、農薬が大きな要因を占めていることが伺えます。そこで、土壌改良剤に補助金を交付するなど、無農薬の**自然農法**に転換する農家を支援する体制づくりが急務です。

また癌細胞を死滅させるには、徹底した食事療法や温熱療法、心理療法などを駆使した東洋医学を重視する必要があります。認知症や発達

障害の早期発見から、医療に頼らない支援体制の確立は重要な課題です。

一方、コンビニ弁当やファミリーレストランのメニューには、人間にとって必要なミネラルが厚労省基準を満たさないことも判明。これを踏まえ谷本候補は、**学校給食改革**の必要性を訴えました。①完全米飯給食の実現②ゆくゆくは玄米とのブレンド化③和食中心で発酵食品を採り入れたメニュー化④魚メニューの多採用⑤自然海塩（藻塩等）の徹底採用⑥牛乳の廃止⑦デリバリー給食の廃止⑧小中学校給食共同調理場方式への転換⑧食材の地産地消の推進一です。

食育が全ての基本です。国の形を変える「**令和維新**」を起こすべく、決意を固めました。



▲選挙戦の個人演説会で熱弁を奮う谷本候補

## 食・医療・環境で日本母親連盟と連携！



▲内海聡講師、田邊恵子母連支部長と共に

5月13日谷本議員は、選挙戦で推薦を受けた**日本母親連盟**主催のセミナーに参加。山陽支部長は選挙戦で応援弁士を務めた田邊恵子女史です。

講師は「うつみん」の愛称で親しまれている内海聡内科医師。彼は覚醒剤と同じ成分を含有する向精神薬の功罪を指摘し、抗癌剤、放射線治療、水銀を含むワクチン接種、フッ素、食品添加物、甘味料、農薬の危険性を訴えました。

谷本議員は、子どもの未来のため食・医療・環境問題に取り組む日本母親連盟と方向性が完全に一致していることで、連携を図るとしています。

## 【予算総体質問】 呉駅周辺地域総合開発は机上の空論！



呉市は令和元年度予算に、**呉駅周辺地域総合開発**を目指す計画策定費 1,500万円を計上しました。これは市長が丸投げした同懇談会での議論を踏まえ、新年度に方向性を固めようとするものです。そごう呉店跡地の再開発に止まらず、呉農協やヒマラヤを抱き込み、呉駅舎の橋上化や駅前広場の拡張とデッキの設置、旧交通局の呉駅西共同ビルと呉駅西駐車場の高層ビル化、レクレビル解体後のロータリー化も素案に挙げられています。

谷本議員は2月28日の予算総体質問で、「机上の空論

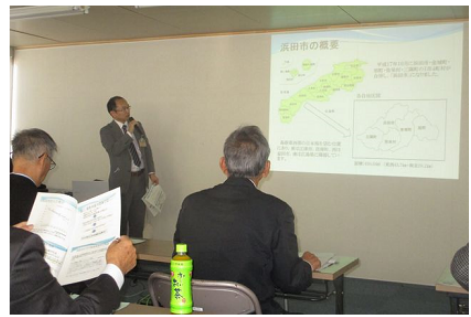
▲宙に浮いた呉駅前広場とそごう跡

での計画策定は税金の無駄になる」と切って捨てました。

## 【予算総体質問】 合併町補助金改革で総合交付金制度を

2月28日の予算総体質問で谷本議員は、**合併町地域まちづくり振興事業**を廃し、新たな**総合交付金制度**の創設を提唱。同事業は合併町にのみ、**ゆめづくり地域交付金**とは別枠で毎年度一律 300万円を交付するもので、合併後10年間の暫定措置としながら現在も継続中で、**外部監査**からも①不公平②ゆめづくり事業と酷似③その使命は終わったと指摘されているのです。

総合交付金は合併町独自事業を提案すれば新たな補助金が加算され、合併町の救済策にもなり得るものです。



▲浜田市の総合交付金制度を学ぶ

## 【12月一般質問】 スポーツ会館と市営プールの連携を！



▲空きとなったスポーツ会館の食堂

呉市**スポーツ会館**は、公益財団法人・呉市体育振興財団が指定管理している公設民営の施設です。

ここはスポーツ団体の宿泊施設であるため、食堂・厨房が設置されていますが、平成29年12月に再委託業者が撤退したままとなっています。

そこで谷本議員は、30年12月13日の一般質問で、財団に業者を公募させるよう市に促しました。31年4月27日には、隣接地に**アクアパーク**（市営プール）がオープンするためニーズがあると指摘。**指定管理者**の公募を復活させれば、よき提案も出されると期待を表明しました。

## 【12月一般質問】 障害者優先調達の拡充で工賃向上を！

**障害者優先調達推進法**では、国や地方公共団体等に対して、障害者就労施設等に物品を発注したり役務の提供を受けたり、優先調達の努力義務を課しています。

呉市では各部署からの積み上げ方式となっているため平成30年度の目標額が 1,700万円に止まっていて、宇部市の 5,700万円からは見劣りしています。加えて民間受注は著しく単価が低く、差別が生じています。

そこで谷本議員は12月13日の一般質問で、共同窓口のNPO と商工会議所が連携する体制構築を提唱しました。



▲障害者就労継続支援B型事業所



## 〔6月一般質問〕 完全米飯給食の導入と地産地消を図れ



▲準完全米飯となった小学校の給食

谷本議員の訴えが実り、呉市は30年度から旧市内の小学校においては、週5日の内、4.5日の割合での**準完全米飯給食**としました。月2日程度をパンか麺類にするという意味です。これまでは週2.5日だった訳です。

6月14日の一般質問で谷本議員は、合併町を含めて**完全米飯**に移行するよう要請。併せて**県学校給食会**から米を購入すると地産地消が薄れるため、可能な地域からの地場産米を導入するよう検討を促しました。これらは**呉市学校給食協会**が足枷となっており、解散を視野に直接調理場が発注する方法を探ることが重要です。

## 〔6月一般質問〕 ワンダーランド構想会議透明化を実現

市長は30年4月末、「くれワンダーランド構想推進会議」を立ち上げましたが、その構成員に市民枠を設け、住民基本台帳から18才から39才までの男女3名を無作為抽出しました。論文提出をさせなかったのは問題です。

6月14日に谷本議員が一般質問でこのことを指摘。併せて会議の非公開性と議事録の代わりに摘録作成の手法に対し、重要な政策決定がガラス張りになっていないと批判しました。その結果、11月16日の第2回会議からようやく**一般傍聴**が許可されることに漕ぎ着けました。



▲非公開だったワンダーランド会議

## 〔予算委〕 広電バスへの公費負担増大に歯止めを



▲呉市交通局民営化後の広電バス

交通局民営化に伴い、広島電鉄への路線毎の赤字分を**経営支援補助金**として呉市が支援して来ましたが。これが年々増え続け、令和元年度予算は3億8千万円にまで膨らみました。しかも平成30度補正予算が年度末に上程され、追加で1億9千万円も計上されたのです。

谷本委員は3月20日の予算委総括質疑で、30年度は**敬老優待補助**を含め広電への支出が8億円の限度額をゆうに超えると指摘した上で、枠組みの考え方について糺しました。当局からは、**生活バス路線**に転換することで、8億円枠は死守していくとの答弁を引き出しました。

## 〔予算委〕 広島呉道路4車線化は無料化を反故に

呉市は元年度予算に、**広島呉道路4車線化**要望書策定費に150万円も計上。既に国交省が候補に挙げたにも関わらずです。谷本委員は3月20日の予算委総括質疑で、「血税で要望書を作成することは贅沢」と指摘しました。

しかも4車線化したところで、セパレーツではありませんから、西日本豪雨災害級の土砂崩落であれば無意味と思われれます。加えて令和2年11月に無料化される予定が、**財政投融资**で再度建設すれば有料化に逆戻り。このことを先ず市民に知らせるべきと訴えました。



▲令和2年無料化予定の広島呉道路



# 豪雨災害 現地視察対応と断水情報の早期提供



▲土石流で土砂が堆積した天応西条



▲川尻港～呉港間の臨時就航を提案

30年7月6日から7日にかけて襲った西日本豪雨は呉市で甚大な被害が続出。特に天応と安浦では土石流は浸水被害に多くの世帯が巻き込まれました。

谷本議員は天応西条、安浦町内海、川尻町、吉浦新出町、狩留賀、倉橋町尾立、警固屋9丁目と、次々に被災地を訪れ、災害対策本部と連携を取りました。中には国や県と直接折衝したこともあります。

また、国道185号線が寸断されたことで、住民の意向を踏まえ、川尻港から呉港を連結する「**キャットクルーズ**」の臨時就航を実現。断水の原因や解除の予定情報を逐一facebookで発信し、好評を博しました。



▲大規模な断水に陥った宮原浄水場

## ①警固屋9丁目治山堰堤の復旧を仲介 H30. 7月11日～

治山堰堤の一部土砂撤去と復旧事業を県と折衝。農道長郷線は呉市と折衝して予算化を要請。



## ②狩留賀国有林崩壊復旧を現地にて仲介 H30. 7月13日～

国有林と治山堰堤が崩落し近隣家屋が全壊に。森林管理署を現地に招き、住民と立会する。



## ③東畑109急傾斜崩壊工事を災害復旧に H30. 10/11～H31. 2/14

東畑 109急傾斜地崩壊対策事業の隣接農地崖が崩落したため、急遽その地点も対象に取り込む。



## ④倉橋町尾立の土留め復旧工事を施工 H30. 10/15～

倉橋町尾立の土留め施設から土砂が隣接民地に溢れたため、施設ポケットの土砂を一部撤去。



## ⑤天応西条背戸の川下流の市道を再舗装 ⑥川尻町光明寺川氾濫抜本対策を提唱 H30. 11/5～24 H31. 3月

天応西条背戸の川氾濫等による被害で市道複数箇所を再舗装。付近のガードレールを延長施工。



川尻町中心部の光明寺川が氾濫し、一帯が浸水。護岸を嵩上げを追加しつつ、河川改修を要望。

